

福岡県民と医師をつなぎ、あしたの健康へとつなぐ

vol. 16

2019  
SUMMER

# えがおから

## 医療ブック



ISHIKAI interview

ひとりでも多く  
子どもたちの命を  
守りたい

©医療情報から見る福岡県



福岡県医師会

ISHIKAI  
interview



子どもを真ん中にして  
権利と尊厳を与えたい

2

016年の参議院選で当選させていただきました。この間、小児科専門医の資格をもつ与党議員が私

だけということで大変多くの重要な決議の場に立ちあわせていただいています。なかでも意義深かったのは、昨年12月に成立した「成育基本法」です。これは四半世紀も前に小児科医や産婦人科医から声が上がっていたもので、「妊娠期から出産後の成長過程まで切れ目のない支援が保障される社会をつくっていきましょう」という考えです。昨今、多くの子どもたちが虐待や育児放棄等で命を落とすような悲しい事件が報じられています。こうして表にでてい

るのは、氷山の一角にすぎません。そして社会の整備を整えることでこうした事態を食いとめることができるかもしれません。この新法案は次世代を担う子どもたちを真ん中におき、子どもたちに権利や尊厳を与えていくもので、行政や医療の分断を解消し、虐待死等の根絶を目指すのが狙いです。国として子どもの死を予防していく為の体制をつくるために、子どもの死因究明(CDR)をおこなうことにも初めて取り組んでいきます。

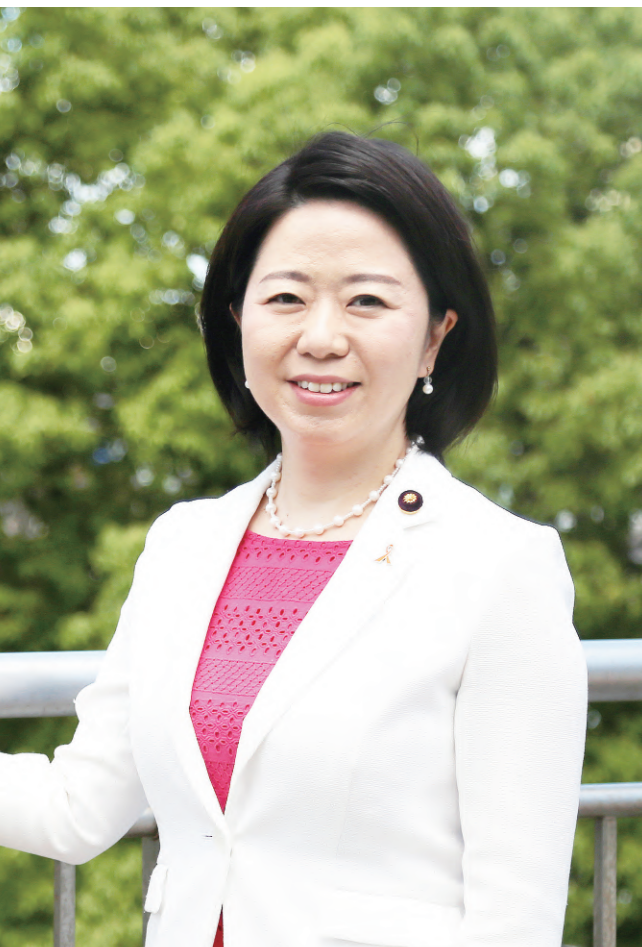
私

も小児科専門医の視点を持ち、この法案の超党派議連の事務局長という立場でかわり、成立から1年以内の施行を目指して、現在準備を進めているところです。この法案の最大の特徴は、子どもの視点に立って考えるのもちろん、親への支援にも重点をおいている点です。子どもを守るにはまず親を孤立させないことが大切。子育ては保護者だけの責任ではなく、医療・療育・教育・福祉、そして行政や地域も一緒に包みこんでいこうという温かい法案にしていきたいと励んでいます。その結果、子どもを中心とする社会が実現され、悲しい事件の根本的解決につなげていきたいです。

母も子どもひとりにさせず  
守る社会をつくりたい

そ

れからこれも目をそらすことができない話ですが、現在、日本の中絶件数は毎年約16万件です。うち10代が1万5千件、そして20〜24歳までの女性が妊娠した



JIMI HANAKO

自民党参議院比例区(全国区)支部長  
小児科専門医・認定内科医 日本医師連盟参与

自見はなこ先生



voice

# ひとりでも多く 子どもたちの 命を守りたい



場合、3人に1人は中絶を選んでいきます。背景には経済的な理由もありますが、予定外に妊娠してしまったため、親に話せずにそうした選択をしてしまうという背景もあるようです。虐待死で最も多いのも、病院外で生まれてその日のうちに実母の虐待で亡くなる子です。これを減らすためには性教育が急務であると考えています。モデルケースになるのは富山市や秋田県、東京都で、中学校で産婦人科医による性教育を命の教育として教え、避妊具やアフ

ターピルについても教えています。これらの成果もあつていくつかの地域で10代における望まぬ妊娠は年々減少しています。正しい知識を与えてあげれば考えや行動もかわっていくのです。

## 子

育て中の皆さんにお伝えしたい明るいニュースとして、国産の乳児用液体ミルクが発売されました。震災の際に「ミルクをください」とプラカードを掲げた方の映像をご覧になったことがあるでしょうか。災害時、粉ミルクをすでに使

用している場合、水や電気・ガスが使えなくなった際の死活問題は赤ちゃんのミルクです。野田聖子衆議院議員をはじめ、多くの方の後おしのおかげで、災害時の赤ちゃんの命をつなぐ源として「液体ミルクを、

命を守る切り札に」という選択肢ができたことには非常に大きな意味があると思っています。基礎備蓄は、災害が起きて3日目までは市町村の役目となっているので、今後も地方議員への働きかけや普及促進に向けた取り組みが続けていきます。

## 他

にも1000人に1〜2人といわれる新生児の難聴に関して対策を講じています。現在、受診率が80%強に過ぎない難聴スクリーニング検査を100%に上げていこうという提言をしています。早期発見できれば早期に介入でき早期治療養を実現できます。

## 今

後も、ひとりでも多くの子ども命を守るために私にできることを探し、実践してまいります。

profile

## 自見はなこ 先生

参議院議員(全国比例区)  
・小児科医

福岡県北九州市育ち。2004年以降、小児科医としての経験を積み、2016年、参議院議員選挙比例区(全国区)当選。議員当選後は趣味のマラソンもあずけ、国会・全国を駆けているそう。



# 医療情報から見る



## 福岡県

### 01

### 救急による 搬送時間が早い！

福岡県の救急車は、入電から病院到着までの時間が全国トップクラス！  
福岡県の救急隊は常に素早く対応しています。



#### 入電から現場到着まで

**福岡平均 7.8分**

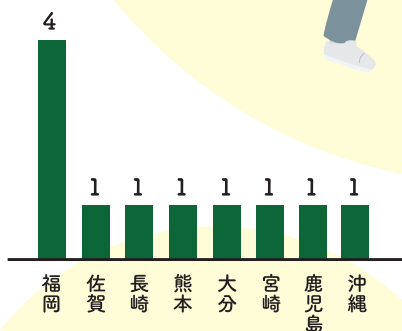
東京 10.7分  
大阪 7.3分  
愛知 7.5分

#### 入電から病院到着まで

**福岡平均 30.7分**

東京 50.0分  
大阪 34.9分  
愛知 32.4分

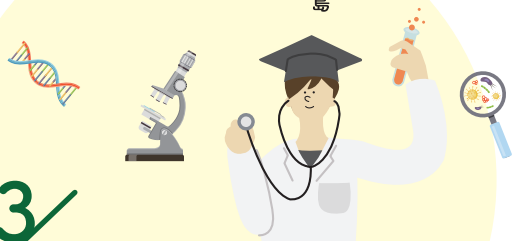
出典：総務省消防庁 平成30年版 救急救助の現況



### 03

### 医学部が多い！

医学部の数は全国でトップクラス！  
九州では1位です。



### 02 人口10万対 常勤換算医師数 が多い！

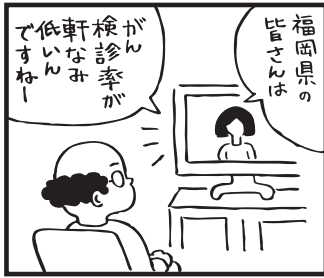
**全国 7位** 209.1人  
(全国平均171.7人)

人口10万人に対する医師の多さは全国で7位！  
多くの医師が福岡県民の健康を守っています。



出典：厚生労働省 平成29年医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況

## えがおからファミリー



## 04 1人あたりの 後期高齢者 医療費が高い…。

全国 1位

ただ、医療アクセスの良さに  
評判がある福岡県。  
高齢者が受診しやすい  
環境だとも言えます。

出典：厚生労働省保険局調査課  
平成28年度 医療費の地域差分析

## 05 がん検診率が 低い…。

肺がん  
全国 42位

胃がん  
全国 35位



大腸がん

乳がん

子宮頸がん

全国 42位

全国 37位

全国 42位

世界と比べても日本は  
検診率が低い…。

その中でも、低い検診率の福岡県民。検診は積極的に受けましょう！

乳がん受診率

アメリカ(2012年) 80.8%  
オランダ(2013年) 72.2%  
日本(2013年) 41.0%

イギリス(2013年) 75.9%  
韓国(2013年) 64.3%

ニュージーランド(2013年) 72.2%  
オーストラリア(2012年) 55.0%

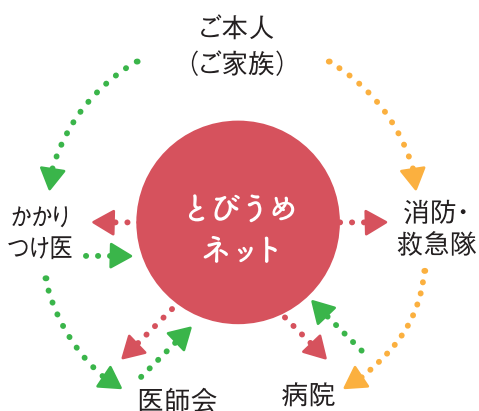
出典：日本医師会 世界のがん検診率

## 健康でいきいきとした毎日のために。 福岡県医師会がサポートします。

Q1

### 「とびうめネット」 ってなに？

皆さんは急に具合が悪くなって医療機関を受診した時に今飲んでいるお薬やどのようなアレルギーがあるか説明できますか？福岡県医師会では皆さんがこのような情報を説明できないような場合でも適切な医療が提供されるように、お薬やアレルギーと言った「医療情報」を共有するネットワークを作っています。これが「とびうめネット」です。とびうめネットは、皆さんが普段かかっている「かかりつけのお医者さん」に皆さんの「医療情報」を登録して頂き、これを急に具合が悪くなって「かかりつけのお医者さん」以外の医療機関を受診した際に、参考にしてスムーズな診療を可能にするものです。登録は無料ですので、まずは「かかりつけのお医者さん」に相談してみてください。



こんな方はぜひご登録を

- 持病やアレルギーがある
- いろんな病院にかかっている
- 一人暮らしで誰にも頼れない
- 離れて暮らす親がいる

お問合せ とびうめネット事務局

**092-476-3809**  
(平日9時～17時)



ホームページはこちら

Q2

### 「福岡県民100年 健康ライフ構想」ってなに？

皆さんは、子どもの頃に受けた予防接種や今までに罹った病気、健康診断の結果を覚えていますか？生まれてから亡くなるまでのこのような情報は実はバラバラに保管されていて、個人個人の情報として一元化されていません。医療機関を受診すると「今までに大きな病気をしたことはありますか？」とか「ここ最近血圧の具合はどうでしたか？」等聞かれると思います。皆さんの「記憶」も大事ですが、客観的なデータとしての「記

録」があれば、より精度の高い診断を下したり、検査をしなくてもいいようなケースもあります。福岡県医師会では、人が生まれてから亡くなるまでの様々な医療情報を個人別に一元化することより、より適正な医療や介護の提供が可能になると考えています。また過去の医療データを元に皆さんにとって最適な予防医療の提案も可能になります。この一元化の取り組みが「福岡県民100年健康ライフ構想」です。



# 福岡県医師会・西日本新聞社共催 県民のための公開講座

医師会からのお知らせ

第1部

記念講演

## 「病気の子もとータルケア」

**講師** 聖路加国際病院統括副院長  
小児総合医療センター長  
小児外科部長

**松藤 凡** 先生

病気の子も達も、遊び、学び、成長してゆきます。多職種によるサポートが必要です。

第2部

## talk & concert 現役医師による音楽ユニット Insheart

精神科医、形成外科2人。医療で身体を治すだけではなく、音楽を通して、その方の心まで癒したいという思いから2015年から活動中。



**日時** 令和元年9月7日(土) **場所** JR九州ホール  
13:00~15:40 **参加料無料**

要予約  
予約はこちら



## 第6回作文コンクール

### 「心のふれあい大賞ーわたしのまわりの医療体験」作品募集

医療従事者と患者さん、その家族との「信頼関係」という医療の原点にスポットをあてた、医療・介護に関する体験記を募集します。ご自身の体験や周りの方のお話など、心温まるエピソードを教えてください。

部門	① 一般の部	② 中高生の部	③ 小学生の部
文字数	400字詰め原稿用紙 5枚(2000字)以内	400字詰め原稿用紙 5枚(2000字)以内	400字詰め原稿用紙 3枚(1200字)以内
表彰 (副賞)	最優秀賞 1名	最優秀賞 1名	最優秀賞 1名
	現金10万円	図書カード5万円分	図書カード5万円分
	優秀賞 若干名	優秀賞 若干名	優秀賞 若干名
	現金3万円	図書カード2万円分	図書カード2万円分
		参加賞 全員	参加賞 全員

**募集期間** 令和元年7月1日(月)~9月30日(月)

**応募方法** 表紙をつけて、部門、題名、氏名(ふりがな)、性別、年齢(生年月日)、〒住所、電話番号、職業(または学校名・学年)を明記し、封筒の表に「心のふれあい大賞」と記載の上、郵送。

**作品送付先** 福岡県医師会総務課 作文コンクール係  
〒812-8551 福岡市博多区博多駅南2-9-30 (TEL 092-431-4564)

Medical Association



こんなときどうする!?  
とっさのときの  
レスキュー

福岡県の救急医療のしくみ



- ・かかりつけ医師
- ・在宅当番の医師
- ・救急二次輪番病院等

救急医療情報センター



119番市町村消防本部

消防署救急隊

ドクターヘリ  
運航センター



ドクターヘリ出動

救急センター  
救急告示医療機関、救命救急センター

救急車は正しく利用してください。

救急車を利用できるもの

- 火災・地震・暴風雨などの災害によって負傷者がた時。●交通事故、運動競技中の事故など屋外や公衆の出入りする場所で負傷者や急病人が出た時。●屋内で負傷者や急病人が出た時などで救急に医療機関に搬送する必要があり、他に搬送する適当な手段がない時。

救急車を利用できないもの

- 軽い病気やけがで緊急に搬送する必要のない傷病者。
- けがや病気を伴わない単なる酔っぱらい。●タクシー代用。

救急医療情報センター

(広域災害医療情報センター)



または 092-471-0099 (自動音声応答 FAX 092-415-3113)

※FAXによるサービスは医療機関の案内のみです。

「福岡県救急医療情報センター」は、救急医療施設や協力医療機関から収集した情報をもとに、24時間体制で救急患者からの問合せに対応するとともに、消防機関などへ必要な医療機関情報を提供しています。また、救急電話相談では、症状に基づき緊急性の有無や受診の必要性について、看護師がアドバイスしています。

福岡県 小児救急医療電話相談

お子さんが急な病気やケガで心配なとき、ご相談ください。

- [相談時間]
- 平日 19:00～翌朝7:00
  - 土曜 12:00～翌朝7:00
  - 日祝 7:00～翌朝7:00

◆プッシュ回線電話(携帯電話も可)からは



#8000は(子ども)病気の相談事業であり、医療行為は出来ません。

ダイヤル回線電話からは専用電話番号へ

- ・北九州地区…093-622-6700
- ・福岡地区…092-661-0771
- ・筑後地域…0942-37-6116
- ・筑豊地域…0948-23-8270

福岡県・福岡県医師会

※23時以降および土日祝の19時までは専用のコールセンターで対応しております。

休日・夜間対応急患センター ※応急的な処置を行うセンターです ※受診前に、必ずお電話にてお問い合わせください

北九州市立夜間・休日急患センター	TEL 093-522-9999	〒802-8560 北九州市小倉北区馬借1-7-1
福岡市急患診療センター	TEL 092-847-1099	〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-6-9
糸島市休日夜間急患センター	TEL 092-329-1190	〒819-1112 糸島市浦志532-1 (糸島医師会病院東隣)
宗像地区急患センター	TEL 0940-36-1199	〒811-3431 宗像市田熊5-5-5 (宗像地域医療センター1階)
朝倉地域休日夜間急患センター	TEL 0946-23-0077	〒838-0069 朝倉市来春422-1 (朝倉医師会病院内)
行橋京都休日夜間急患センター	TEL 0930-26-1399	〒824-0002 行橋市東大橋2-9-1 (行橋京都メディカルセンター)

※ふくおか医療情報ネット 救急医療体制表より

